

阿智村教育委員会 平成 29 年 10 月定例会会議録

- 会議日時 平成 29 年 10 月 17 日(火) 午後 1 時 30 分より
- 会議場所 阿智村保健センター 集会室
- 出席者 教育長：黒柳 紀春 教育長職務代理：塚田 紀昭
委員：熊谷 紀夫 委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩

【事務局】

総務兼学校教育係長：塩澤 満 学校教育専門主事：(山本博宣)
公民館兼社会教育係長：石原 哲成 保育園長：長谷川 恵一
子育て支援室長：島岡 佐喜子 学校給食係長：佐藤 卓郎

1 教育長あいさつ

- (1) 9 月 24 日清内路小学校校地説明会について
 - ・参加者が 6 名と少なく、第 2 回を 10 月 29 日に行う予定である。
- (2) 9 月 26 日第 2 回教育文化協議会第 6 次総合計画ワークショップについて
 - ・関係者約 20 名が参加。委員の意見を参考に施策検討シートの内容を詰めていく。また、10 月 16 日から始まる村政懇談会でも村民の意見を集約したい。
- (3) 日本福祉大学自治体推薦について
 - ・申込み期限までに出願申請がなく、面接は 2 年連続で中止となった。
- (4) 9 月 12 日飯伊教育長部会について
 - ・阿智村の I C T 機器整備状況は比較的遅れている。飯伊市町村教育委員会では歩調を合わせて推進することが確認されている。清内路小学校の川上校長が機器の整備計画を作成し、明日の村内校長会で示すことになっている。
- (5) 後藤正さんからの寄付について
 - ・G O K O グループ代表後藤正氏から教育文化のためにと、1、2 千万円程度の寄付の申し出があった。今後、各係で用途内容を検討する。
- (6) 平成 29 年度末村内小中学校の人事構想について
 - ・各校長より説明を受けたところであり、今後検討していく。
- (7) 学校教育専門主事の後任について
 - ・後任は前学校教育専門主事の山本博宣氏。任期は平成 30 年 3 月 31 日までの 6 カ月。身分は臨時職員とし、その間、学校教育専門主事は空席とする。

3 協議事項

(1) 阿智村第6次総合計画基本構想について

- ・各係長より施策検討シート概要説明

① 子育て

(原委員)

コーディネーターの発展とは？

(島岡係長)

成長過程を含めて

(熊谷紀委員)

休みの度に行事があり親の参加が大変である。どんな人にどのような形で参加しなければならないか考えなければならない。

(島岡係長)

行事に参加されない親子。手助けをしなければならない対応が多い。外に向けて情報の発信。遠隔地でも事業を行う。

(塚田委員)

地域おこし協力隊の活用。放課後子ども教室と学童保育事業の違いを説明してほしい

(島岡係長)

学童保育は子ども支援室、放課後子ども教室は学校、行政、地域が主体となるが市町村によっていろいろな取り組みがある。

(塚田委員)

居場所づくりとして、育ち合っるとともに成長していける環境や体制づくりをしてほしい。

(熊谷紀委員)

国で事業仕分けがなされているが、村の実情に合った内容で対応してほしい。

② 学校教育

(原委員)

部活動の充実ということで講師を入れている。サッカーとバレーは外部コーチ。社会体育のコーチが兼ねることが多い。村は学校独自で学校をバックアップする体制も必要。

(教育長)

県の具体的指針や動向を見ながら充実させていきたい。

(塚田委員)

学校本来の目標を入れる。志を育む教育も大切。ICTの文章①を二つに分け

ること。

③ 保育園

(塚田委員)

コミュニケーション能力の育成について具体的な内容が示されていない。望ましい保育園体制のあり方は。

(原委員)

施策目標の書き方は学校教育と同じ表現で総務と相談の上統一してほしい。

(山本主事)

保小中の連携を具体的な内容で明記すること。例えば、子ども同士の交流を増やすなど。

④ 社会教育

(原委員)

わい・Wai 公園の管理について。満蒙開拓平和記念館の周辺を整備して憩いの公園としたり、駐車場を整備するなどの事業が必要ではないか。

「チャレンジゆう」や体育協会など他機関と連携して、アスリートへの次のステップに向けた育成の流れや方策を考えたい。

(塚田委員)

教員の指導力の向上と地域研修の必要性から、夏期講座や同学年会など具体的な内容を明記すること。

(2) 第2回要保護・準要保護児童生徒の認定について

総務係より概要説明

・異議なし、承認。

(3) 海外研修事業の見直しについて

社会教育係より概要説明後、質疑

(熊谷紀委員)

海外はテロが多いので安全面で気になっている。

(原委員)

「ホームステイ」という言葉がプレッシャーになるのではないか。

(熊谷紀委員)

高校生を対象とすることも一案。

(教育長)

原案で数年実施して様子を見たい。海外の地域文化や伝統行事に参加することも有意義な研修ではないか。

(塚田委員)

受入れ国の国情や治安を含め、旅行業者との検討が必要。

(山本主事)

楽しみであることが大事。遊園地などを見学先に含んでもいいのではないか。

(教育長)

保護者負担や日数も踏まえ、行先はアジア大洋地域、対象は中高校生で募集を検討したい。

・原案承認。

(4) 後援申請について

- ・村民劇（村民劇プロジェクト実行委員会）
- ・品川聖南信州阿智村コンサート（品川聖阿智村コンサート実行委員会）
- ・阿智村子育て講演会（阿智村保育園）

概要説明の上、承認

4 報告・連絡事項

(1) 各係より

- ・寄付金の使途について（総務係）

(塚田委員)

関係部署と連携して対応してほしい。

- ・Jアラート緊急告知時の対応について（総務係）
- ・東山道・園原ビジターセンターより（総務係）

(2) 11月定例会開催日 11月15日(水) 午後1時30分

5 閉会

(閉会 午後4時40分)

教育委員 署名